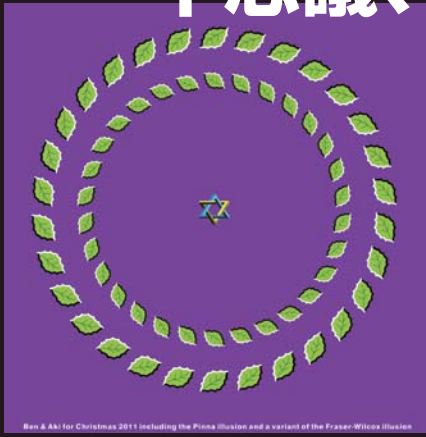


# 不思議、びっくり、ありえない美術館



Ben & An: for Christmas 2011 including the Pieta Illustration and a variant of the Fraser-Wilcox Illustration  
中心にある卒印を見ながら頭を前後すると  
リングが回転するよ。  
作品名：「ペンとアキのクリスマス」



メガネをつけて中に入ると床も壁も全てが浮いて見える  
3D体験ができるよ。  
作品名：「3D 通路」



作品名：「消えた鶏2」

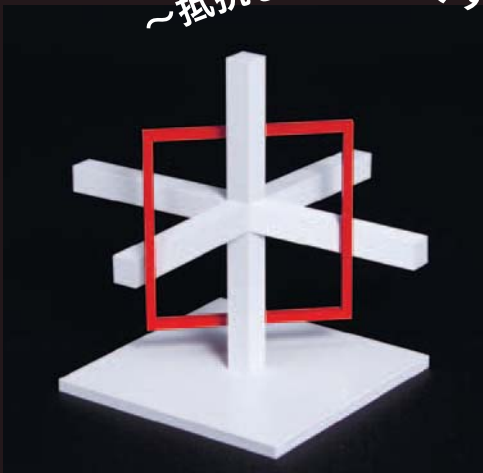
鏡に映すと...  
消えてしまつ!?

# 錯覚美術館

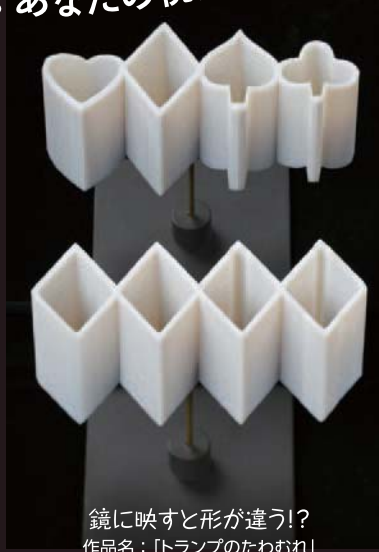
in イオンモール天童

さっかくびじゅつかん

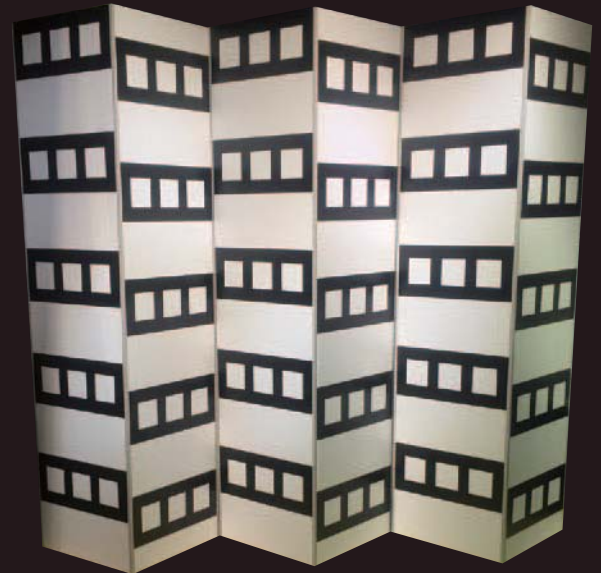
～抵抗しても無駄です。あなたの視覚は計算済み～



4本の柱を一つも通さないで中央の柱にだけ  
くぐらせたら不思議ですネ。  
作品名：「止まり木の輪くぐり」



鏡に映すと形が違う!?  
作品名：「トランプのたわむれ」



大きなビルをよく見ると傾いているように見えるよ。  
作品名：「カフェウォールビル」

注：写真はイメージです。実際のものとは多少異なる場合があります

2019 4/20(土) ▶ 5/6(月) 振休

期間中 平日 10:00～17:00(最終入場16:30)  
無休 土日祝 10:00～18:00(最終入場17:30)

会場 **イオンモール天童 2階イオンホール**  
(天童市芳賀タウン北 4-1-1)

主催：山形新聞・山形放送 特別協賛：イオンモール天童  
後援：山形県、山形県教育委員会、天童市、天童市教育委員会、山形県保育協議会、  
山形県子ども会育成連合会、山形県PTA連合会、山形県私立幼稚園・認定こども園協会  
企画：株式会社フォーシーズン

前売り券取扱所  
山形新聞・山形放送本社・支社、山形新聞各販売店、セブン-イレブン(セブンチケット)、ローソンチケット  
(Lコード:22674)、ファミリーマート、チケットぴあ(Pコード:769-643)、e+(イープラス)

	一般(高校生以上)	小・中学生
入場料 (税込み)		
前売り券	600円	
当日券	800円	400円

※未就学児無料

### LINE@割引

イオンモール天童公式LINE@お友だちのお客さま、  
または、新規でお友だち登録されたお客さま  
【クーポン画面提示で当日券2名さままで100円引き】



### 割引

ヨモギヤ会員【会員カード、携帯、スマホ提示で当日券2名さままで100円引き】  
障がい者割引【手帳提示で本人と同行者1名まで当日券の半額】

※割引サービスの重複はできません



錯覚美術館 さっかくびじゅつかん in イオンモール天童

入場料 **100円割引**

一般(高校生以上) 当日券800円を700円で、  
小・中学生400円を300円で入場できます。

- 本券を当日窓口までご持参ください。
- 1枚で2名さままでに限らせていただきます。

※割引サービスの重複はできません

問い合わせ：山形新聞社事業部「錯覚美術館」係 山形市旅籠町2-5-12 山形メディアタワー TEL023-642-7955 (平日9:30～17:30)

# 錯覚美術館

in イオンモール天童  
さっかくびじゅつかん

## 特別講座

開催日 2019年4月28日(日)

会場 錯覚美術館特設会場

杉原先生と

### 錯覚の作品を作ろう!

2010年米国フロリダで開催されたベスト錯覚コンテストで優勝した作品「なんでも吸引四方向すべり台」を杉原先生の指導で工作するミニ講座です。



作品名:「なんでも吸引四方向すべり台」

開催日 2019年4月28日(日)

会場 錯覚美術館特設会場

講師 錯覚美術館館長 杉原厚吉先生

時間 ① 11:00~12:00

② 13:30~14:30

対象 小学生~一般  
(各回先着30組・要予約)

※小学校低学年の方は保護者の同伴が必要です。

参加材料費 500円

※1個分の材料費になります。  
※当日、受付にてお支払いください。  
※別途、錯覚美術館の入場料が必要になります。

申し込み・お問い合わせ

住所、氏名、電話番号、希望時間、個数を明記し、ファクス、メール、もしくは電話で下記へお申し込みください。電話の場合は、平日の午前9時30分から午後5時30分までにお申し込みください。

山形新聞社事業部「錯覚美術館」係  
山形市旅籠町2-5-12 山形メディアタワー  
TEL 023-642-7955  
FAX 023-634-3259  
メール jigyo@yamagata-np.jp

※申し込みの際に頂いた個人情報はこの特別講座の運営にのみ使用します。

## 大人も子どもも楽しめる、 体験できる、学べる、 そしてやっぱりだまされてしまう、 ここは不思議な不思議な美術館。

目の錯覚とは、見たものが事実とは違うように見えてしまう現象のことです。同じ大きさの図形が違う大きさに見えたり、同じ色が違う色に見えたりする錯覚は有名ですから、皆さんもご存じでしょう。古くからいろいろな種類の錯覚が知られていますが、現在もたくさんの新しい種類が、発見されたり創作されたりしています。ここには、私たちが研究の中で新しく創作した錯覚作品を中心に展示してあります。

まずはこれらの錯覚を体験し、その不思議さを楽しんでください。

明治大学研究・知財戦略機構 特任教授、  
明治大学先端数理科学インスティテュート所長



錯覚美術館館長 杉原厚吉  
(すぎはら・こうきち)

【プロフィール】  
1973年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、電子技術総合研究所、名古屋大学、東京大学などを経て、2009年4月より現職。専門は数理工学。ロボットの目を開発する研究の中で、不可能図形のだまし絵を立体化する手法を見つけ、立体錯視の分野へも研究を広げてきた。さまざまな不可能立体を創作し、立体錯視アーティストとしても活躍している。国際ベスト錯覚コンテスト優勝3回(2010年、2013年、2018年)、準優勝2回(2015年、2016年)。錯視立体作品は、2018年9月より2020年2月までの1年5か月にわたって台湾の故宮博物院で展示されるなど、多くの科学館・美術館などで展示の実績を持つ。

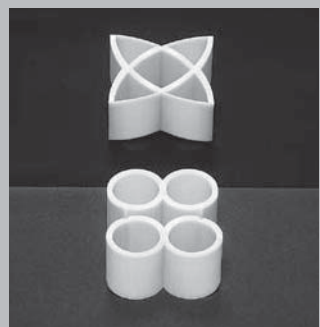
□錯覚美術館には下記の先生方の作品が展示されます。

- ・杉原厚吉 明治大学研究・知財戦略機構 特任教授
- ・北岡明佳 立命館大学総合心理学部教授、教育学博士
- ・山口 泰 東京大学大学院総合文化研究科 教授、工学博士

鏡に映すと形が変わる?!



作品名:「消えた鶏1」

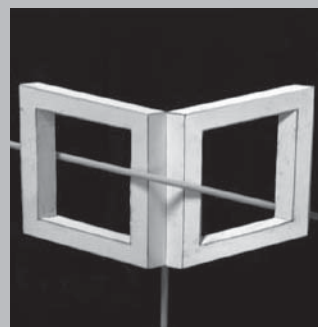


作品名:「円柱のマスゲーム」

よく見ると...ありえない形?です。



作品名:「冗談の好きな二本柱」



作品名:「歪んだ窓枠」